

経営比較分析表（令和元年度決算）

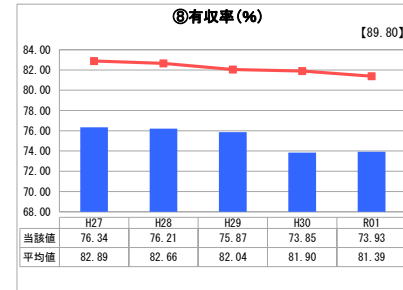
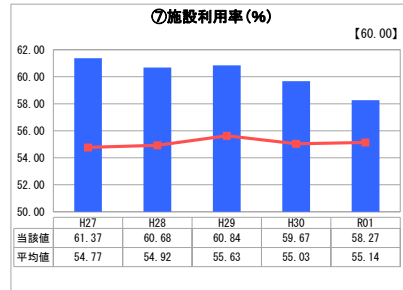
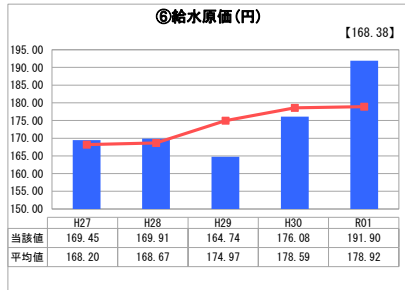
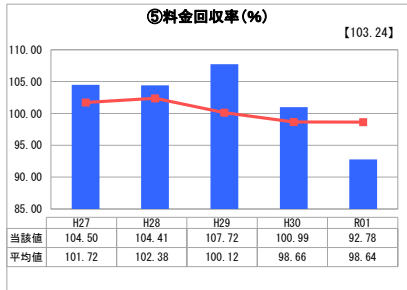
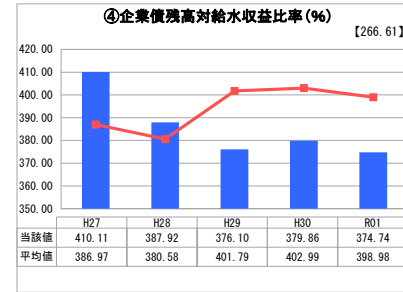
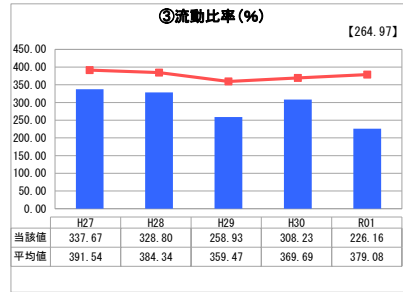
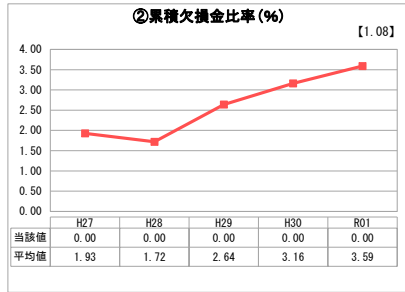
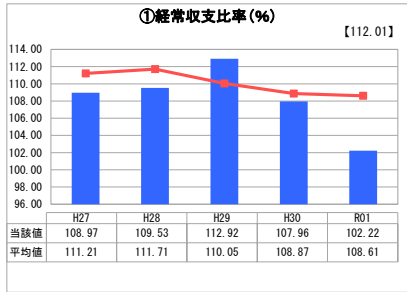
北海道 白老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	65.55	98.52	3,355	

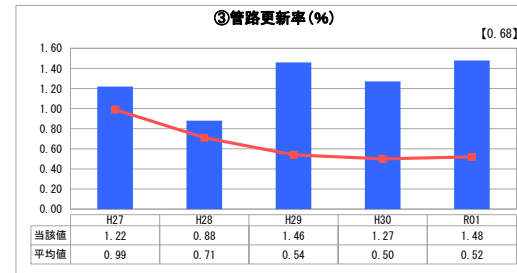
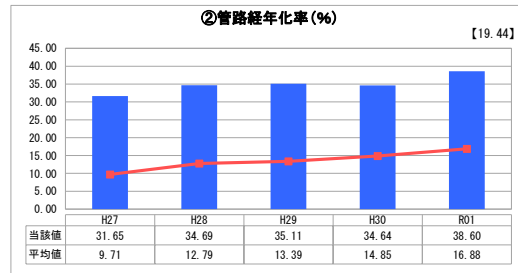
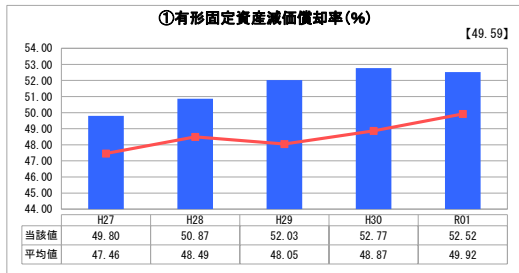
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,638	425.64	39.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
16,228	46.52	348.84

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本年度も黒字決算となっているが経常収支比率、料金回収率は年々下がり、類似団体と比べても低い状況であることから、漏水の早期発見など損失対策を講じ、有収率を上げるとともに料金の見直しを行うなど、収益を増やす必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は類似団体に比べ高いものの、管路経年化率も高いことから、更新工事のコストや給水人口動態を踏まえ、計画的に更新を行なう必要がある。

全体総括

黒字での経営とはなっているものの、経営の健全性や効率性については課題が残る結果となった。今後も給水人口の減少は避けられないため、厳しい財政状況になると予想されることから、効率的な財政投資と収益のバランスを考え事業を行う必要がある。